

## 帝京短期大学 こども教育学科

### こども教育専攻 こども教育コース合格の皆さんへ

こども教育コースへの合格おめでとうございます。

皆さんは、子どもが大好きで子どもとかかわる仕事がしたいと、幼稚園教諭・保育士の資格を目標に受験されたことと思います。その目標を達成するために入学前に以下(1)(2)の課題をあらかじめ学習して、入学後の短大での学びに生かすことができるようにしていただきたいと思います。

(1) 次の6つの課題のうち、1つを選び、400字～600字程度で記述してください。手書きあるいはPCで作成して印刷したものを郵送で提出すること。

提出期限：2026年3月19日（木）

提出先：〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-31-1 帝京短期大学入試広報課  
（郵送方法は問わない）

課題1、子どものころに好きだった遊び（機械ゲーム以外で）の思い出について

課題2、子どものころ読んで印象に残っている絵本、あるいは自分の好きな絵本の紹介文  
まず、絵本の題名、作者（文・絵・翻訳）、出版社、初版の出版年を記入し、絵本の概要、なぜ紹介したいかその理由を書くこと。

課題3、新聞・雑誌・インターネットなどで「子ども」に関する記事を1つ探して読み、内容の概要と感想

課題4、子どもが信頼できる大人と共に過ごす時間はどのような意味があるだろう？

課題5、子どもと家庭を支えるとは、どういうことだろう？

課題6、『育ての心（上）』（倉橋惣三文庫3）『育ての心（下）』（倉橋惣三文庫4）（倉橋惣三著、津守真・森上史朗編集 フレーベル館 2008年）の一部を読んだ感想  
どこを読んだかを明示して、感想を書くこと。

(2)-A 「ピアノ実技Ⅰ」の授業の準備として添付した「小犬のマーチ」を弾いてみましょう。  
練習方法の詳細は、別紙に示します。

(2)-B YouTubeなどを視聴して「季節の歌」（春夏秋冬の歌）を各2曲ずつ歌えるようにしましょう。（例 春：「ちょうちょ」、「ぶんぶんぶん」など）

## 「小犬のマーチ」の練習について

こんにちは。「ピアノ実技」を担当いたします、林です。

ご入学前から少しずつ、保育者の音楽表現技術に慣れていきましょう。

最初に、指番号を確認しましょう。右手も左手も親指から1, 2, 3, 4, 5となります。

1. (1) の楽譜をみてください。右手の最初の音はミです。ミドミド ミソソ\* と指番号通りに弾いてみましょう。2 段目までは、ドレミファソ に1, 2, 3, 4, 5の指を置いている状態で弾けます。3 段目からは指使いに慣れてください。

2. 左手の3つの和音を弾けるようにしましょう。

**赤** (ドミソ)、**青** (シレソ)、**緑** (ドファラ 指使い気を付けて) となります。

この3つの和音をマスターすると、今後いろいろな曲の伴奏ができます。

まずは、**ドミソ**と**シレソ**を、行ったり来たりすることに慣れてください。

その後、**ドミソ**と**ドファラ**を行ったり来たりすることに慣れてください。

慣れてきたら、和音の響きの移り変わりを味わいながら弾けると良いですね。

3. メロディをドレミで歌いながら、左手を弾きましょう。右手も弾きながら歌いましょう。保育・教育現場では「歌うこと」が非常に大事になってきます。たとえピアノの経験者であっても弾き歌いの練習には、この片手演奏に歌をつける演習をします。

4. 片手練習+歌 が十分にできるようになりましたら、両手練習に入りましょう。

5. (1) の楽譜が弾けるようになりましたら、(2)、(3) と左手の伴奏形をバージョンアップしていきましょう。

最後に(1)(2)(2) と、3 回通して弾けるようにしましょう。歌いながら弾けると楽しいですよ。歌詞を考えて歌ってくださっても楽しいです。

6. 仕上がりのテンポ、は曲の冒頭に提示されています。♩=120 とは ♩を1 分間に120 回たたく速さのことです。1 秒間に2 回手拍子してみるとわかります。

4 月に皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。

(林 麻由美)

## 小犬のマーチ(1)

♩ = 120 くらい

外国曲

[illegible]

# 小犬のマーチ (2)

♩ = 120 くらい

外国曲

First system of music (measures 1-4). The key signature is C major (C). The tempo is marked  $\text{♩} = 120$  くらい. The dynamics are marked *mf*. The music is in 4/4 time. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The melody consists of quarter notes and rests. The bass line consists of chords.

Second system of music (measures 5-8). The key signature is C major (C). The dynamics are marked *mf*. The music is in 4/4 time. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The melody consists of quarter notes and rests. The bass line consists of chords.

Third system of music (measures 9-12). The key signature is C major (C). The dynamics are marked *mf*. The music is in 4/4 time. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The melody consists of quarter notes and rests. The bass line consists of chords.

Fourth system of music (measures 13-16). The key signature is C major (C). The dynamics are marked *mf*. The music is in 4/4 time. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The melody consists of quarter notes and rests. The bass line consists of chords.

# 小犬のマーチ (3)

♩ = 120 くらい

外国曲

First system of music (measures 1-4). The key signature is C major (C). The time signature is 4/4. The tempo is marked ♩ = 120 くらい. The dynamics are marked *mf*. The music features a melody in the right hand and a bass line in the left hand. The bass line consists of a steady eighth-note pattern.

Second system of music (measures 5-8). The key signature is C major (C). The time signature is 4/4. The dynamics are marked *mf*. The music features a melody in the right hand and a bass line in the left hand. The bass line consists of a steady eighth-note pattern.

Third system of music (measures 9-12). The key signature is C major (C). The time signature is 4/4. The dynamics are marked *mf*. The music features a melody in the right hand and a bass line in the left hand. The bass line consists of a steady eighth-note pattern.

Fourth system of music (measures 13-16). The key signature is C major (C). The time signature is 4/4. The dynamics are marked *mf*. The music features a melody in the right hand and a bass line in the left hand. The bass line consists of a steady eighth-note pattern.